

令和6年度介護ロボット実用化促進事業 応募申請書（介護事業所用）作成要領

- 1 所定の「応募申請書（Microsoft PowerPoint）」の様式に沿って作成してください。
- 2 「応募申請書」に記載欄が設定されている場合は、記載欄内にテキストベースで簡潔に必要な事項を記載してください。
- 3 「応募申請書」に記載欄が設定されていない場合は、必要に応じて、図や写真などを添付してください。
- 4 複数の事業所で応募する場合、「2 介護ロボット等の試験導入を希望する事業所」、「4 介護ロボット等の試験導入・効果検証の実施体制」、「5 介護ロボット等の活用状況、試験導入・効果検証の実施環境等」のスライドは事業所ごとに作成してください。
- 5 「3 介護事業所で解決したい課題・介護ロボット等の導入目的」は、次頁別表に記載の内容から貴事業所で解決したい課題を選択し、選択した課題について事業所の状況を踏まえ具体的に記載してください。
- 6 複数の事業所で応募する場合、「3. 介護事業所で解決したい課題・介護ロボット等の導入目的」、「6. 介護ロボット等の導入の計画・構想」のスライドは、どの事業所に関する記述か分かるように記載してください。
- 7 「応募申請書」は表紙を除き原則 15 ページ以内で作成してください。
- 8 文字の標準サイズは 12 ポイントとします。最大サイズは特に指定しませんが、最小サイズは 8 ポイントまでとしてください。ただし、図表中など、やむを得ない部分についてはこの限りではありません。
- 9 「応募申請書」を作成する際、記入例は削除してください。
- 10 「応募申請書」を提出する際、ファイルのサイズは 20MB までの容量としてください。20MB を超える場合には、事前に募集要項「8. 問合せ先」に申出をしていただき、県が指定する方法で提出をしてください。
- 11 「応募申請書」の提出後、記載内容等について県から確認の連絡をさせていただく場合があります。

番号	主な課題	対象事業所	対応機器例	目指す方向性例
1	夜勤職員の業務負荷軽減	居宅サービス事業所を除く事業所	見守り支援 (ベッドセンサー等)	介護ロボット等を導入することで、「定時巡視廃止」による職員の負担軽減と生産性向上を目指す
2	利用者の安眠確保	居宅サービス事業所を除く事業所	見守り支援 (ベッドセンサー等)	利用者に安眠を提供できるよう、適切な訪室を実施し、利用者の睡眠を妨げない夜間見守りを目指す
3	利用者の転倒・転落防止	居宅サービス事業所を除く事業所	見守り支援 (カメラ等)	夜間の転倒・転落事故やヒヤリハットを減少させ、利用者が安全に夜間の生活を送れるようにする
4	移乗支援時の職員の身体的負担の軽減	居宅サービス事業所を除く事業所	移乗支援（非装着）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2人介助で移乗支援を行っている利用者に対し、1人介助とする ・ 移乗支援機器により、職員の腰痛防止を目指す
5	記録業務等の効率化	全ての事業所	介護業務支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ メモ等から記録への転記等の二度手間を無くし、介助内容に関する記録時間を適正化する ・ 訪問介護において、訪問送迎時の業務効率化を目指す
6	職員同士の円滑な情報共有	居宅サービス事業所を除く事業所	コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離れた場所にいる職員を探しに行ったり、大きな声で呼びかけたりすることなく、インカムを通じて、スムーズに連絡・相談を行う ・ ナースコール対応や医療処置が必要な場合の介護職員から看護職員への連絡を、インカムを活用して行う
7	被介護者と介護職員（及び家族）との意思疎通	居宅サービス事業所	コミュニケーション・レクリエーション	被介護者のコミュニケーション能力の向上、会話によるQOL向上を目指すとともに、それに伴う介護職員（及び家族）の負担軽減を図る